

別記様式第1号ー1

1 カミキリムシ類の種類名

クビアカツヤカミキリ

2 発生調査

本害虫の被害発生状況を把握するため、次の調査を実施する。

(1) 定点調査

- ①方法：目視による疑似フラス有無の確認
- ②時期：5月～7月、9月～11月、頻度：各1回/地点、回数：2回/年
- ③調査地域：県内全域

(2) 発生地域の調査

- ①方法：目視による疑似フラス有無の確認
- ②時期：4月～7月、9月～11月、頻度：適宜
- ③調査地域：海草地域、那賀地域、伊都地域、有田地域、日高地域ほか新たに発生した地域

(3) 通報に伴う初動調査

- ①方法：目視による成虫・疑似フラス有無の確認
- ②時期：通年
- ③調査地域：新規発生確認場所の周辺地域

3 防除

本害虫の被害拡大を防止するため、次の防除対策を推進する。

(1) 薬剤散布

- ①方法：樹冠全体への散布
- ②時期：6月～8月、特に7月
- ③回数：約10日間隔で2回以上

(2) 幼虫の防除

- ①方法：掘り取りと薬剤注入
- ②時期：4月～3月、頻度：随時

(3) ネット被覆

- ①方法：フラス排出部の約50cm上側から地面まで2重に被覆し、地面に固定する。ネット内を適宜確認し成虫を捕殺する。
- ②時期：ネット被覆 4月～3月、成虫捕殺 6月～8月

(4) 伐採（抜根）・処分

- ①方法：被害樹伐採と適切処分（破砕処理、焼却処理等）
伐根不可の場合、成虫離脱防止のため株を3年間密閉状態にする。
- ②時期：4月、9月～3月（原則、6月～8月の成虫発生時期は除く）

(5) 予防対策

- ①方法：樹幹へのネット被覆等、試験研究機関等において効果が認められた方法での対策
- ②時期：4月～3月

4 防除効果確認調査

防除対策の効果と伐採対象樹を把握するため次の取組を実施する。

- ①方法：
 - ・ ネット被覆樹の成虫確認
 - ・ 新規フラス排出の有無等で、伐採樹または経過観察樹を把握する。
(伐採の必要が有る樹は、伐採の実施状況を確認する。)
 - (" が無い樹は、経過観察と薬剤防除等を継続する。)
- ②時期：6月～8月（成虫確認）、4月～5月・9月～3月（伐採樹・経過観察樹の把握）

5 生産者等への技術的指導等

本害虫について、県内に広く周知し、対策実施による被害拡大防止を図るため、次の取り組みを実施する。

(1) 啓発活動

- ①方法：生産者等へのチラシ配布等
- ②時期：4月～3月

(2) 研修会

- ①方法：生産者等への防除対策研修
- ②時期：4月～3月

6 その他特記事項

県（環境部局）：県単事業として農地外（サクラ等）での伐採及びネット被覆を支援。

別記様式第1号-2

時期 内容	令和7年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定点調査、発生調査および防除効果確認調査	定点調査・発生地域の調査				定点調査・発生地域の調査							
	・ 定点調査：5月～7月 ・ 発生地域の調査：4月～7月				・ 定点調査：9月～11月 ・ 発生地域の調査：9月～11月							
	通報に伴う初動調査											
	・ 通報に伴う初動調査：通年（新規発生場所の周辺）											
					防除効果の確認（伐採樹・経過観察樹の把握）							
	・ 4月				・ 9月～3月							
	防除効果の確認（ネット内の成虫） ・ 6月～8月											
防除	薬剤散布 ・ 6月～8月（特に7月）約10日間隔で2回以上											
	幼虫の防除											
	・ 幼虫の防除：4月～3月（掘り取り、薬剤注入）											
	ネット被覆（成虫捕殺）											
	・ ネット被覆（成虫捕殺）：4月～3月（6～8月）											
					被害樹の伐採（抜根）・処分							
	・ 4月～5月				・ 9月～3月							
	ネット被覆（産卵抑制）											
・ 4月～3月												
生産者等への技術的指導等												
	啓発活動											
	・ 4月～3月											
	対策研修会											
・ 4月～3月												